

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校・専科教員用）

福生第三小学校

音楽科	教科担任 ○○ ○○
児童の実態	<p>日常的にマスクを外す児童も増え、声量も充実してきている。離任式や終業式で全校で校歌を歌う場面などでは、歌うことに対する積極的な姿勢が見られる。しかし、意識的に口を動かし丁寧な発音で歌うことについては、まだ十分な積み重ねができていない。</p> <p>ここ数年のリコーダー指導回避の影響はだいぶ解消され、学年相応の技術を身につけることができている。その半面、年々タンギングや息遣いのコントロールが苦手な児童が増えてきている。</p>
児童の実態を踏まえた授業改善の取組	<p>歌唱指導の場面において、発声練習を意識的に多く取り入れていくなど、豊かな声量で歌う感覚と息の使い方の感覚を定着させたい。また、行事においては可能な限り歌唱による表現も取り入れ、歌に対するモチベーションを高めていきたい。</p> <p>大型モニターや iPad を活用し、リコーダーの運指や様々な楽器の奏法などを視覚的に捉えやすくする。タンギングや息遣いについてはトレーニング的な練習方法を考え、個別指導を充実させていく。</p>